

関係者へのインタビュー（経過報告）

1 インタビュー概要

旧赤星邸の利活用に際し、関連があると思われる方々（20 団体）に期待する事や気になることなどについてインタビューを行い、今後の検討の参考とする。適宜インタビューを行い、次回とりまとめの上、報告する。

2 前所有者

記録

- ・ 関わっていた年代がそれぞれ違うので、記憶がバラバラ。会の 100 周年を機に、市からの質問に答えるために整理してみると良いかなと思っている。

地域とのつながり

- ・ 居住者によって、付き合いはそれぞれ異なっていたが、日常的に遊びに来たり、お菓子を分けたり、季節の行事へ誘ったりといった付き合いがあった。
- ・ 成蹊大学の先生や学生、近隣の方に英語を教えるなど付き合いがあった。
- ・ 退去が決まってからは、保育園の子どもたちが来てもらって、お庭で遊んでもらったり、勉強会を開催した。開催にあたっては、近隣の方から準備や当日の運営など協力してもらった。
- ・ 近隣の方が自分たちの存在をよく理解してもらっていた。

利活用

- ・ 市の管轄になることで、安心になる。
- ・ 市が真面目に検討しているのは分かるが、取得して終わりではなく、どのように決めるのは本当に難しい。
- ・ 一般的な公園よりも、文化、教育など目的に即した公園になる方が地域に受け入れられるのではないか。
- ・ レーモンドが作ったとはいえ、特定の専門家だけで使うのはもったいないので、コミセンなど自主管理の実績もあるので、市役所に任せるのではなく、地域に任せて工夫しながら、自分たちで工夫してやっていけるとよい。
- ・ 保育園などに庭で遊んでもらえるとよい。子どもたちが安心して過ごせる公園になると地域に喜ばれるのではないか。

3 赤星鉄馬の親族の方々

あらましの PR

- ・ 赤星鉄馬の兄弟の中にはゴルフ界の先駆者が居るので、そうしたことを旧赤星邸で知らせられると良い。
- ・ 赤星家はあまり知られていない。業績や歴史を赤星邸に集積させ紹介し、自然と一体的な文化施設にできると良い。
- ・ 赤星家の頃と修道会の頃とイメージが異なるので、写真などを展示しツアーができると良い。
- ・ メディアを使って紹介し、フィルムなどにまとめ、建築を学ぶ人に価値を伝える必要がある。

保存

- ・ 建築としての価値があるので、意匠や空間を損なわずに残してほしい。でないと市が取得した意味がなくなってしまう。レーモンド建築であることを知ってもらい、日本の建築史の一つとして残していけるとよい。
- ・ 後世に文化遺産として残し、改修してほしい。
- ・ 家具や棚も価値があるので、できるだけ今の状態で残してほしい。

利活用

- ・ 公民館のように一般化すると、違いがなくなり、旧赤星邸としての価値がなくなってしまうのが心配だ。
- ・ 歴史的建造物を見学する資料館のようになると 1 回見学したらおしまいになる傾向がある。 レポートして訪問するように工夫してほしい。
- ・ 建物があると集う場として自然に集まりやすい。元々集う場所になっていた。

進め方

- ・ 市民に役立ち、市の税金がこんなことに使われるのはイヤねといわれなくないようにしてほしい。
- ・ 武蔵野市としてよろしいようにしてほしい。特に要望はない。
- ・ 商業的なマンションにならず、木々を残したいという意向を聞いてもらえ、市民に支持されるはずだ。
- ・ 全国の事例を調べて、指針を示しランドデザインをしていってほしい。

4 近隣住民

修道女会とのつながり

- ・ 夏休みや年末年始などには、近隣住民がカギを預り、見回ったり、シスターの家族が来たときには、近隣住民宅に滞在するなどの交流があった。
- ・ 修道女会からは感謝されており、一緒に来るまで旅行にでかけたり、シスターが吉祥寺を出てからも、家族ぐるみの交流が続いた人もいた。
- ・ 庭のバラやアジサイを植えたり、庭の手入れを近隣住民が行っていた。庭師も紹介した。
- ・ 賛美歌がよく聞こえていた。
- ・ 退去する際も、片付けや、お弁当を持って行ったりして、シスターのお世話をした。保存活動にもシスターから紹介され、参画した。

利活用

- ・ 建物から見える景色を残してほしい。
- ・ 心配や不安、期待もある。すごく人が来るようになったら、目の前なので心配だ。
- ・ 塀がなくなると誰が入るか分からないので、夜が心配だ。
- ・ 一般的な公園になると、今までのイメージが変わり、いつでもだれもが入ることができてしまい、他と同じようになってしまうことが心配だ。
- ・ 公園になっても、遊具を設置したりせず、今ある庭をできる限り保存してほしい。
- ・ 災害時に使えたり、こども食堂としての活用や、シングルマザーが和めたり、かつて生活していた空間利用も行い、困っている人のためになるような、シスターの思いを引き継ぎ、多目的な利用ができると良い。
- ・ 市民の管理運営ができると良い。
- ・ 市民の施設である一方、施設運営のために費用を稼ぐことも考えたい。ただし、市外から多くの人を訪れることまではしたくない。
- ・ 成蹊大学は近いし、ボランティア活動も盛んなので、連携できると良い。